指定管理評価表(園田東会館)

令和2年3月31日現在

							7 702年3月31日5亿年		
施	設 棚	X :	要	尼崎市立園田東会館(尼崎市戸ノ内町3丁目27-1) 開館時間:平日 9:00~17:00(休館日:土日祝・年末年始) 施設設置目的:市民の生活文化の向上を図るための各種の研修、レクリエーション及び集会の場の提供 事業内容:園田東会館の仕様に関すること及び施設の維持管理					
指	定管理者			株式会社ハウスビルシステム					
指	定期	月	間	平成27年4月1日~令和2年3月31日					
業	務 概	X	要	園田東会館の維持管理業務					
				項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度		
				貸室利用者数	1,572 人	1,646 人	1,671 人		
利	用 状	況	等	貸室稼働率	6.8 %	7.3 %	7.7 %		
				自主事業開催数	14 回	11 回	26 回		
				自主事業参加者数	175 人	198 人	282 人		
所	管課・所管	課長	名	総合政策局 園田地域振興センター 園田地域課・課長 松原 裕二					
評	価 対 象	期	間	平成31年4月1日~令和2年3月31日					

評	価	項	説明	評価	評価コメント
1 サ	ービスの質	の維持・向_			・自主事業の開催数は減っているものの、地域のニーズ等も踏まえつつ積極的に企画実施している。 ・利用者増に向けてチラシや会館だよりを全戸配布しており、登録グループ増につながっている。
	自主事業	·指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
	サービス「	句上	サービス向上の取組みがされているか		
	施設利用	者数	施設利用者の掘り起こしがされているか	Α	
	利用者要	望の把握	利用者要望の把握がされているか		
	事業計画	性,透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
	住民·利用	用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適	適正な施設の管理				・清掃などの日常の維持管理に
	施設保守	•管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		ついて、チェックリストを完備し、 適正に実施されている。 ・利用者とともに自衛消防訓練 を実施している。 ・定期的な内部会議や研修を行い、情報を共有している。
	職員体制		合理的な配置か、責任体制が整った配置か	A	
	危機管理		事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
	個人情報	管理	個人情報の管理が適正であるか		
	職員研修		職員研修が十分に実施されているか		
3 収					・まとめ買いを実施したり、リースを継続契約し経費節減に努め
	収支状況		収支の状況が適正かつ良好であるか	Α	へを秘税关制し社員即派に労のている。
	経費節減	の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指	定管理者の	D経営状況等		・損益計算書上、適正な利益が	
	会計状況		適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)	Α	確保されている。
	経営状況		経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 そ	その他				・文書・帳簿類は適切に管理さ
	文書等の	管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか	Α	れている。 ・内部評価も適正に行われてい る。
	評価の実	施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容

左記に関する取組状況とその取組に対する評価

【自主事業の実施】

「オイルチップデザイン」、「パン教室体験レッスン」、「フラワーアレンジメント」、「ウォールデコレーション」、「ポーセラーツ1DAYレッスン」、「フラワーアレンジメント」、「台湾スイーツクッキング」、「フォトフレームアレンジ」、「お正月飾りアレンジレッスン」

・ニーズに合わせた自主事業を実施できるよう利用者アンケートを基に柔軟に対応し、積極的に実施している。

・参加人数の増加を図るためのPR・広報の手法について、自主事業ごとに近隣にポスティングするなど参加者増加に取り組んでいる。

総合評価

総合評価の理由、今後の課題等



適正に施設の管理が行われているとともに、引き続き経費節減にも取り組んでいるほか、経営状況等も良好である。当館の課題である利用率の向上についても、地域へのポスティングなどの成果があり、新たな登録グループが発足するなど、熱意をもって取り組まれている。新型コロナウイルスの影響により利用率が低下しているが、影響がない場合は利用率の増加が見込まれていた。

り、 以上から、総合評価としてはA評価とした。令和2年度から5カ年の指定管理に選定されており、今後においても、利用率 向上に向けて当課とともに取り組みを進めることとする。

- ※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。
- ※ 確認調査の結果をチッェクリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後,総合評価を行うこと。
- ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。